

2025年度 決算説明資料

2026年5月14日

本資料の内容には、将来に対する見通しが含まれています。しかし、実際の業績は、様々な状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。

ご了承下さい。また、本資料の無断転載はお断りいたします。

本資料内で％表示をしているものに関しては、前年同期比の増減率となります。

株主還元・資本政策

業績予想

戦略的投資

決算概況

コンテンツ戦略・AI関連

編成戦略・デジタル・配信

補足資料

2025年度 増収増益

売上、各段階利益とも過去最高

- 日本テレビが地上波広告収入の増加により増収増益
- BS日本、ジブリ、ムラヤマ、ラベルヴィーなどのグループ企業の業績が貢献
- 2024年度に減損したHJホールディングスは増益
- 2026年度も政策保有株の売却を継続

当社過去最大 M&Aを実施

- KANAMELを完全子会社化（2026年4月）CM制作、ドラマ・映画製作など
→中期経営計画で掲げた「グローバルコンテンツ企業への変革」に向け**IP創出と制作体制強化**でシナジー発揮

2025年度増配 及び 2026年度配当予想

【2025年度配当】 ※期末配当を5円増配

	2025年度	直近の配当予想 (2026年2月5日公表)	前期実績 (2024年度)
1株当たり配当金	35円	30円	30円
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

【2026年度予想】

	第2四半期末	期末	合計	総還元性向
2024年度	10円	30円	40円	約30%
2025年度	10円	35円	45円	約38%
2026年度予想	10円	35円	45円	約45%

* 2026年度総還元性向は今回開示の業績予想をもとにした現状の予想です

* 株主名簿外の外国人等への配当は2024年3月31日の基準日から支払を開始しました

自己株式の取得

2025年度実績

- 取得株式総数：2,601,900株
 - 取得金額総額：9,999,767,084円
 - 取得期間：2025年11月7日～2025年12月17日
- * 取得した全株式を消却しました

2026年度

- 自己株取得に関する決議内容

取得する株式総数：5,200,000株（上限）取得金額の上限：12,000,000,000円
取得期間：2026年5月15日～2026年8月31日

- TosTNeT-3(自己株式立会外買付取引) による買付

取得株式総数：2,300,000株（上限）5月14日終値で買付
取得期日：2026年5月15日午前8時45分

* 取得する全株式を消却する予定です

政策保有株の縮減

2025年度売却分

- 上場有価証券 1 銘柄の一部を複数回売却
投資有価証券売却益：83億円

2026年5月14日開示

- 上場有価証券 1 銘柄の一部を2026年6月までに売却予定
投資有価証券売却益：195億円見込み
- 当該企業の業績、配当、株価など定量的側面を考慮の上、保有の合理性を検証した上で継続的な縮減を進める

※P4-6の配当、自己株式の取得、政策保有株の縮減は「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に即したものです

(参考) 中期経営計画におけるキャッシュアロケーション

資本政策・株主還元方針

資本効率の向上と適切な株主還元

2025年度から2027年度の間に生み出すキャッシュフローで成長投資を賄い、収益基盤の拡大を目指します。
政策保有株を縮減し、総還元性向35%以上を新たな目標に株主還元を推進します。
果敢な投資を通じて成長戦略を推進し、企業価値の向上に邁進していきます。



2025年5月発表中期経営計画2025-2027より

連結業績及び配当予想

業績予想

(単位：百万円)

	2026年5月実績	2026年度予想	増減率
売上高	484,418	535,000	10.4%
営業利益	69,332	49,000	△29.3%
経常利益	82,081	59,000	△28.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	56,767	51,500	△9.3%

配当(2025年度増配)

(単位：円)

	第2 四半期末	期末	合計
2025年度	10	35	45
2026年度予想	10	35	45

- ・ 2025年度期末配当を30円から35円に増配

2026年度日本テレビ 地上波広告収入見込み (対前年増減率)

前提	2026年度予想
タイム	0.3%
スポット	△6.0%

株主還元・資本政策

業績予想

戦略的投資

決算概況

コンテンツ戦略・AI関連

編成戦略・デジタル・配信

補足資料

KANAMELの完全子会社化 ①

■ グローバル市場を見据えたコンテンツ製作強化

- 日本テレビホールディングスは、KANAMELの株式を投資総額483億円で取得し、完全子会社化しました
- 「グローバルコンテンツ企業への変革」に向けた、IP創出と制作体制強化を図る戦略的投資として実行しました



AOI Pro.



■ KANAMEL株式会社 概要

- KANAMELは AOI Pro.、TYO、TREE、FMX、FMSを中核とする国内外26社からなるホールディングス会社
- 売上高783億（2025年12月期）、従業員数1,956名（2025年12月末）
- 広告映像制作市場で国内トップシェア実績を誇る
- 映画・ドラマ等の映像作品においても国内外で数々の賞を受賞
- 卓越したクリエイティブ能力を基盤にコンサルティング事業も伸長



映画「8番出口」
©2025 映画「8番出口」製作委員会



映画「爆弾」
©興業社/興業社
©2025映画「爆弾」製作委員会



三井不動産 三井のすずちゃん
THE FIRST TAKE

KANAMELの完全子会社化 ②

■ 目指すシナジー

- KANAMELのハイクオリティな映像制作力で創り出す、
日本から世界へ通用する**良質なドラマ・映画・音楽IPの企画製作**
- KANAMELの高度な戦略立案能力による、当社グループの基幹である**広告ビジネスの進化**
- KANAMELが世界7か国に展開する海外拠点を通じた、**グローバルビジネスの拡大**

■ 協業の進捗

- AOI Pro.とTREEが、2026年1月に 実写×AIドラマ「TOKYO巫女忍者」で制作/VFX制作
- TREEが、2026年10月期の大型GP帯ドラマ「俺たちの箱根駅伝」でVFX制作を担当
- AOI Pro.と日テレ/スタジオセンターで、映画、ドラマの共同企画開発
- TYOと日テレ/Music & Artistセンターで、音楽IPコンテンツの共同企画開発
- FMXと日テレ/マーケティングセンターで、コンテンツ・マーケティング戦略強化に向けた協業取組



主な戦略的投資の推移

	中期経営計画 2016-2018	中期経営計画 2019-2021	中期経営計画 2022 - 2024	中期経営計画 2025 - 2027
コンテンツ・ グローバル領域	PLAY AllAbout  All About Navi Weekday	  	スタジオジブリ labelle vie     ALPHA CODE	 KANAMEL
ウェルネス領域 新規事業領域 ほか			  	 
その他含めた 総投資額	220億円	290億円	366億円	522億円

その他の成長投資

■ その他戦略的投資

- ・ 国が推進する「旧奈良監獄保存活用事業」への出資

重要文化財をホテル・ミュージアムへ大幅改装し運営する事業に参画しました
星野リゾートとの連携により、双方の強みを活かしたシナジー創出を図っていきます

- ・ プロダンスリーグの“D.LEAGUE”を運営する(株)Dリーグへの出資

ダンスを基軸とした新たなエンターテインメントIPの価値最大化を目指します

- ・ PLAYによるビデオマーケットの子会社化及び吸収合併

両社の技術と知見でシナジーを創出し、ユーザー視聴体験の向上と事業成長を加速していきます



「旧奈良監獄保存活用事業」

■ 戦略費実績

- ・ らぶいーずに続く新規キャラクターIP（コンテンツ戦略費）

「らぶいーず」の多角展開に加え、新規IP開発も推進し、成長領域としてさらなる拡大を目指します

- ・ コンテンツテクノロジー戦略（イノベーション戦略費）

複数のAIエージェントの開発・導入により、属人的な判断を可視化・構造化し、意思決定の質の向上を図っています

- ・ AiDi(エイディ)のグローバル展開（新規事業戦略費）

社内の現場課題を解決する取り組みとして始まった挑戦が、世界の大舞台でも導入されるまでに成長しました



「らぶいーず」

株主還元・資本政策

業績予想

戦略的投資

決算概況

コンテンツ戦略・AI関連

編成戦略・デジタル・配信

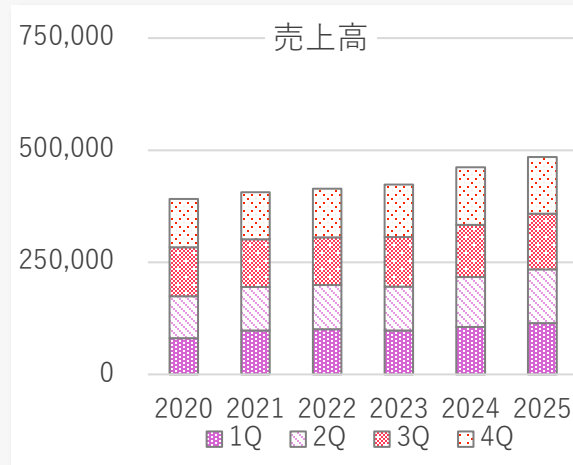
補足資料

日本テレビホールディングス：連結決算

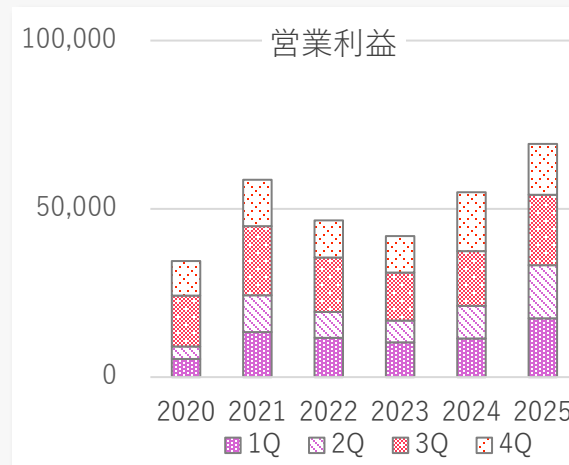
(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	前年差	増減率
売上高	461,915	484,418	22,503	4.9%
営業利益	54,917	69,332	14,415	26.2%
経常利益	65,724	82,081	16,357	24.9%
親会社株主に 帰属する当期純利益	46,000	56,767	10,766	23.4%

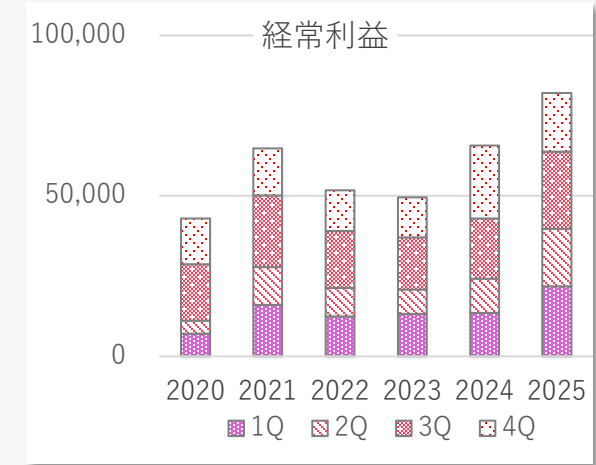
(百万円)



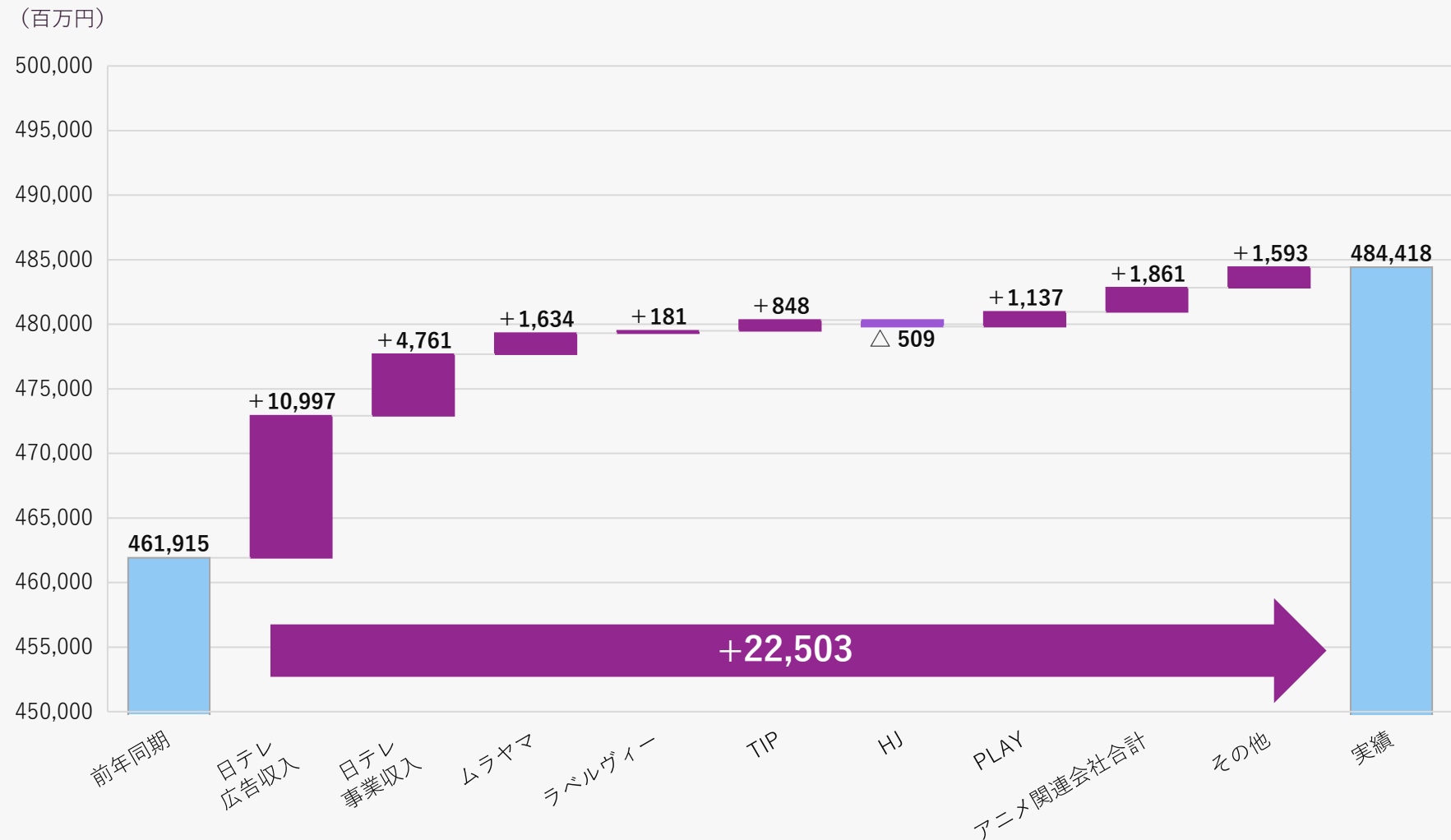
(百万円)



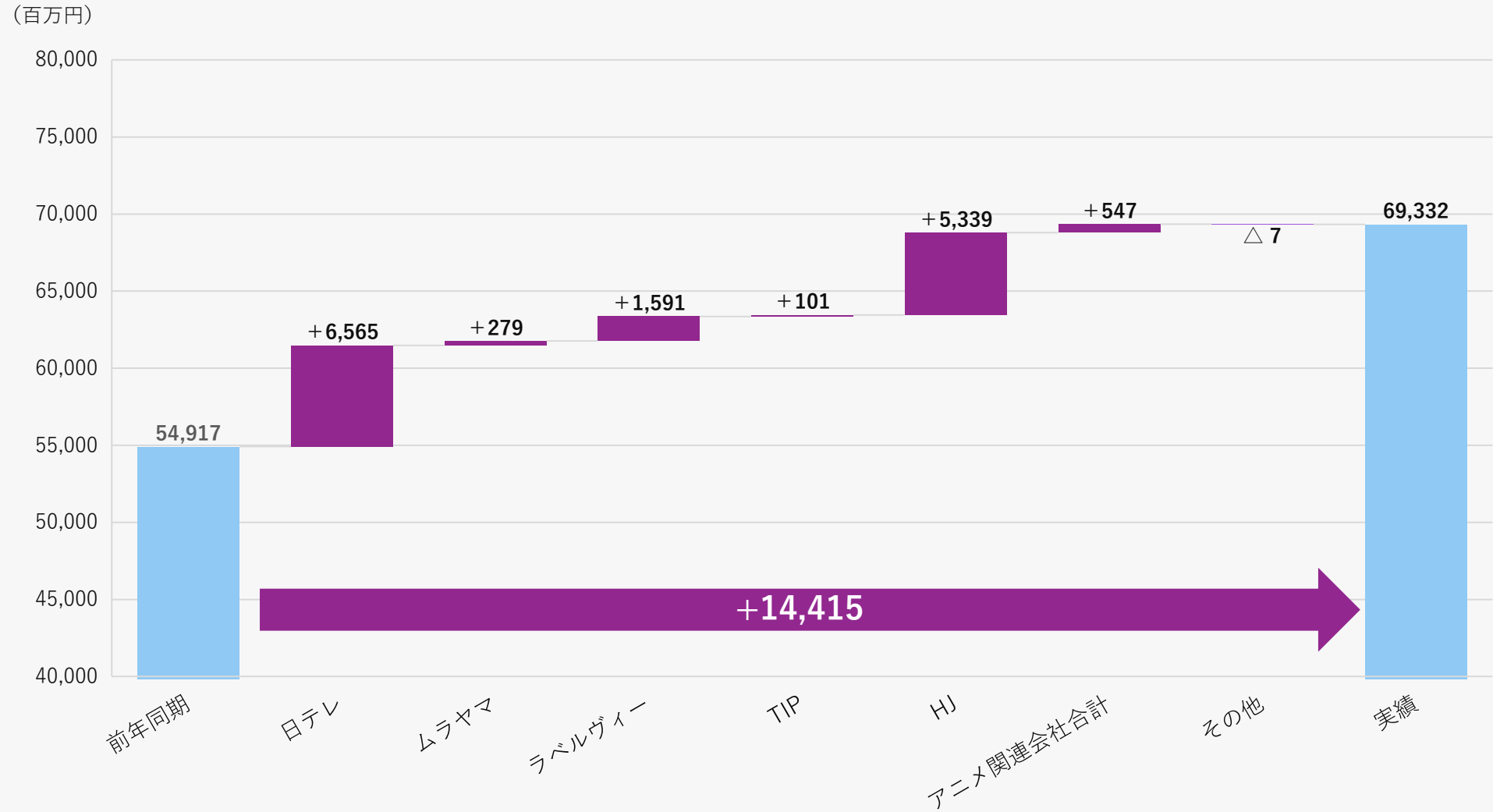
(百万円)



売上高の前年同期増減分析



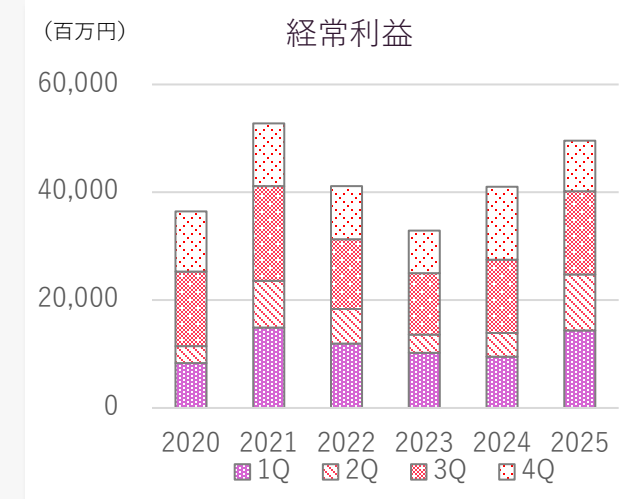
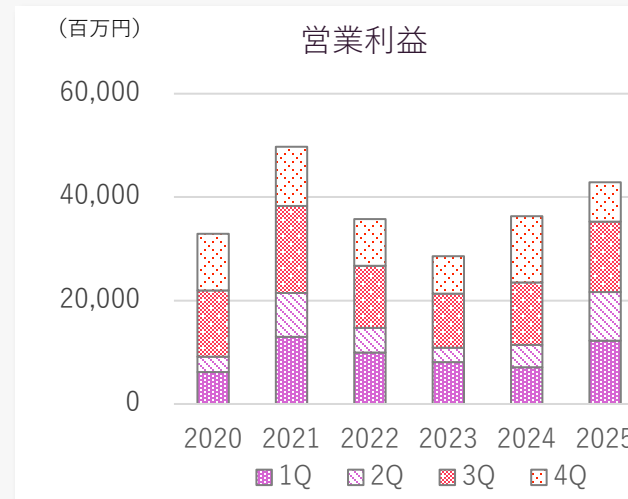
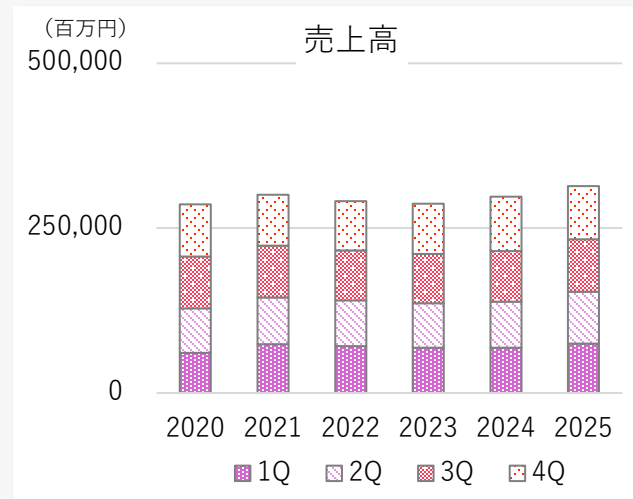
営業利益の前年同期増減分析



日本テレビ放送網：決算

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	前年差	増減率
売上高	297,731	313,804	16,073	5.4%
営業利益	36,307	42,873	6,565	18.1%
経常利益	41,045	49,599	8,554	20.8%
当期純利益	32,445	40,057	7,611	23.5%



日本テレビ放送網：広告収入状況

(単位：百万円)

	2024年度	2025年度	前年差	増減率
広告収入	232,721	243,719	10,997	4.7%
タイム	105,039	104,132	△907	△0.9%
スポット	117,159	127,696	10,537	9.0%
デジタル広告	10,522	11,890	1,367	13.0%

2025年度
広告収入
前年同月比

タイム	増減率	スポット	増減率	デジタル広告	増減率
4月	△1.4%	4月	4.8%	4月	35.7%
5月	1.7%	5月	16.6%	5月	23.9%
6月	0.5%	6月	15.5%	6月	72.6%
7月	△6.0%	7月	26.4%	7月	76.7%
8月	2.7%	8月	29.0%	8月	41.0%
9月	△4.7%	9月	17.0%	9月	63.9%
10月	2.8%	10月	2.6%	10月	22.3%
11月	3.3%	11月	4.8%	11月	21.6%
12月	△1.0%	12月	6.0%	12月	18.5%
1月	△0.1%	1月	9.7%	1月	2.4%
2月	7.2%	2月	△0.9%	2月	△31.0%
3月	△11.8%	3月	△8.3%	3月	△34.7%

日本テレビ放送網：営業収支詳細

(単位：百万円)

営業収入	2024年度	2025年度	前年差	増減率
広告収入	232,721	243,719	10,997	4.7%
番組販売収入	10,689	10,986	297	2.8%
事業収入	51,168	55,930	4,761	9.3%
不動産賃貸収入	3,151	3,168	16	0.5%
合計	297,731	313,804	16,073	5.4%

営業費用	2024年度	2025年度	前年差	増減率
番組制作費	87,715	89,526	1,810	2.1%
人件費	21,266	20,916	△350	△1.6%
減価償却費	9,013	8,232	△780	△8.7%
事業費	47,223	52,869	5,645	12.0%
その他	96,206	99,387	3,181	3.3%
合計	261,423	270,930	9,507	3.6%

日本テレビ放送網：番組制作費

(単位：百万円)

2024年度	2025年度	前年差	増減率
87,715	89,526	1,810	2.1%



日本テレビ放送網：主な事業収支

(単位：百万円)	収入		収支		特筆点
	2025年度	増減率	2025年度	増減率	
アニメ	5,734	△5.9%	2,566	8.4%	薬屋のひとりごとが好調。アンパンマンは海外拡大
映画	4,254	△13.8%	1,732	△28.8%	コナン好調も、スカーレットが厳しい結果に
ミュージック& アーティストセンター	6,079	△6.1%	1,251	7.4%	大型興行数は減少したものの、D.U.N.K.等収益に貢献
イベント	9,028	77.8%	1,260	14.0%	ジブリ立体造形物展、久石譲コンサート、北斎展が好調
リテールビジネス	9,022	2.8%	572	35.6%	金曜放送枠の影響が大きく、増収増益に
海外ビジネス・ 配信ビジネス (除アニメ)	3,286	△4.7%	2,604	△10.2%	グローバルプラットフォームへの配信は増加。フォーマット販売で前年計上の反動減もあった
コンテンツビジネス等	3,471	100.2%	508	127.8%	配信向け制作ドラマが収入、利益に貢献

*旧「IPビジネス」は、社内の組織名称に合わせ「ミュージック&アーティストセンター」に変更

*旧「海外番販（除アニメ）」は「海外ビジネス・配信ビジネス」に変更。なお、昨年売上の一部は「コンテンツビジネス等」に振替
配信サイトへのドラマの売上は「コンテンツビジネス等」に計上

主なグループ会社の状況

2025年度

* 連結決算への影響がある会社を中心とした、日本テレビ放送網以外のグループ会社

(単位：百万円)

	BS日本		CS日本		日本テレビ音楽		バップ		ティップネス		ムラヤマ	
売上高	18,349	1.4%	8,557	△2.1%	10,263	11.7%	6,915	1.6%	27,603	3.2%	23,006	7.6%
営業利益	2,956	1.3%	189	△50.7%	2,530	10.2%	1,009	19.1%	245	71.0%	1,581	21.4%

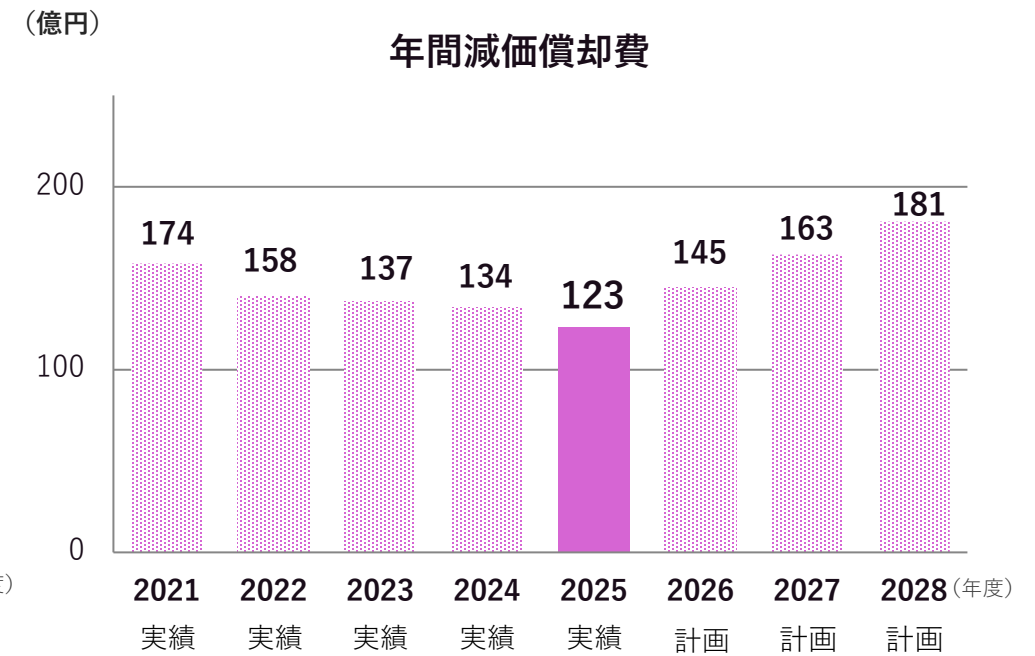
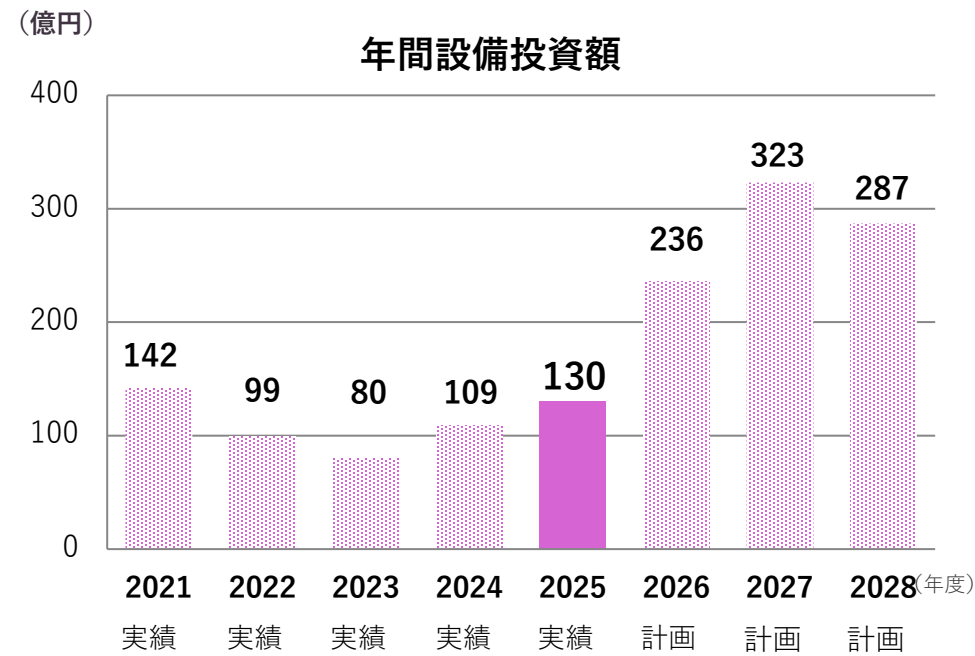
	日本テレビサービス		タツノコプロ		HJ ホールディングス		ACM		PLAY	
売上高	7,320	△9.5%	2,073	49.9%	32,118	△1.6%	5,429	2.9%	10,352	12.3%
営業利益	335	△65.0%	27	△9.9%	3,377	—	1,279	△5.9%	1,520	9.6%

※前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は(－)表記

設備投資と減価償却

(単位：億円)

	設備投資額	減価償却費
2025年度	130	123



株主還元・資本政策

業績予想

戦略的投資

決算概況

コンテンツ戦略・AI関連

編成戦略・デジタル・配信

補足資料

スタジオジブリ ①

■ 宮崎駿監督が制作した「パノラマボックス」をジブリパークで展示

宮崎監督は2023年公開「君たちはどう生きるか」の制作終盤から、新たな取り組みとして、ジブリパークのための展示物「パノラマボックス」*を制作しました。「風の谷のナウシカ」から「君たちはどう生きるか」までの長編アニメーション作品をはじめ、短編作品やオリジナルの新作を含むパノラマボックスは、すべて宮崎監督による描き下ろしです。7月8日よりジブリパークにて展示されます。

*箱の中に描かれた絵をのぞき込むと、映画のワンシーンのような奥行きのある風景が広がって見える仕掛け絵のような絵箱のことです。キャラクターや背景画などが別々に描かれ、箱の中に何層にも分けて配置されます。

3月17日に発表されたパノラマボックスは、宮崎監督が子どもの頃に制作していたものと同様に、全て紙で作られています。



© 1984 Hayao Miyazaki /Studio Ghibli, H

■ 新作短編アニメーション「魔女の谷の夜」ジブリパークにて上映決定

スタジオジブリの新作短編アニメーション作品「魔女の谷の夜」

(監督：宮崎吾朗、山下明彦) が7月8日よりジブリパークにて上映されます。

この作品はジブリパークの「魔女の谷」を舞台にした物語で、スタジオジブリがジブリパークのために初めて作ったオリジナル短編アニメーション作品です。



© 2026 Goro Miyazaki, Akihiko Yamashita /Studio Ghibli

スタジオジブリ ②

■ 「ジブリパーク展」

ジブリパークの楽しさをぎゅっと凝縮した移動遊園地のような

“来てみなけりゃ、わからない。”「ジブリパーク展」を開催

1 会場目は2026年7月18日～9月26日の大阪南港ATCギャラリーにて開催予定



■ 「禅とジブリ」 京都展

鈴木敏夫プロデューサーと禅僧による対談をまとめた著書『禅とジブリ』を原点とし、ジブリ作品を通して、“禅的なまなざし”に触れるこれまでにない体感型の展覧会です
2026年10月3日～12月6日、京都市京セラ美術館 新館 東山キューブにて開催します



Title Written by Toshio Suzuki
© Kanyada

■ 「金曜ロードショーとジブリ展」

金曜ロードショーの歩みと共に、スタジオジブリ作品の魅力を辿る展覧会です

これまで、東京、富山、京都、広島、秋田、三重、長崎、福島、静岡、大分会場が終了し、累計動員数が200万人を超えました

現在開催中の愛媛展は7月5日までとなり、7月18日からは山口で開催予定です

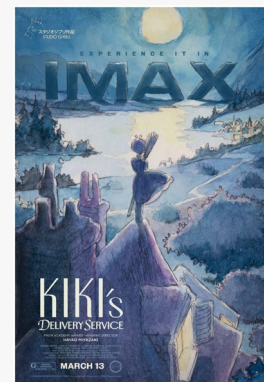
大分会場のようす



© Studio Ghibli

スタジオジブリ③

- IMAX/4K版「**魔女の宅急便**」・「**耳をすませば**」・「**借りぐらしのアリエッティ**」の海外公開
昨年、世界各地のIMAX/4K上映で好評を博した「もののけ姫」に続き、
「魔女の宅急便」、「耳をすませば」、「借りぐらしのアリエッティ」の3作品を世界各地で公開します
- 「**高畑勲展**」(正式名称: Isao Takahata Pionnier du dessin animé contemporain, de l'après-guerre au Studio Ghibli)
昨年の東京・麻布台ヒルズ、パリ・日本文化会館での開催に続き、
4月24日から9月27日まで、スイス・ローザンヌのmudacにて開催されます
「アルプスの少女ハイジ」から「火垂るの墓」や「かぐや姫の物語」まで、
貴重な制作資料等を展示するほか、高畑勲監督と西洋文化との関わりに
焦点を当てたスイス独自の特別セクションも公開しています
- 「**スタジオジブリ展 in チェジュ**」
これまで韓国で数々のスタジオジブリ作品を配給してきた大元メディアが、
今夏、韓国・済州島にて、大規模、かつ、特別な展覧会を開催します
ジブリ作品の名シーンを表現した立体造型物を中心に、作品の世界が体験できる空間です
公園内にはジブリグッズのショップ「どんぐりの森」や、
「魔女の宅急便」をモチーフにした「コリコカフェ」もあり、合わせて楽しむことができます



© 1989 Eiko Kadono
/Hayao Miyazaki
/Studio Ghibli, N



アニメビジネス展開 ①

【日テレ系アニメ枠「フライン」1時間に！】

4月から1時間に拡大した「フライン」！従来の23時放送のフライン2300、そして新設された23時30分放送のフライン2330の2枠にパワーアップします！

2026年4- 7 月期：『**転生したらスライムだった件**』第4期
(毎週金曜23:00～)



全世界シリーズ累計5600万部突破、アニメ累計視聴数30億回突破。国内外で愛される異世界エンターテインメントの金字塔的作品・通称「転スラ」第4期

©川上泰樹・伏瀬・講談社
／転スラ製作委員会

2026年4月期：『**スノウボールアース**』
(毎週金曜23:30～)



「月刊！スピリッツ」（小学館）にて好評連載中。制作は、外連味あるアクションや人間ドラマを描いた意欲的な作品を手掛けている、実力派スタジオ・スタジオKAI。雪と氷に覆われた地球〈スノウボールアース〉を舞台に描かれる、いま最も注目されるSF×怪獣×ロボットアクション！

©辻次タ日郎／小学館／
「スノウボールアース」製作委員会

『勇者のクズ』

賞金稼ぎ《勇者》とマフィア《魔王》が斬り合う現代異能バトル、舞台は北海道へ！3人の弟子達の因縁、そしてヤシロの運命は…2クール目に突入



©ナカシマ723／ロケット商会／
リイド社・製作委員会のクズ

『ただいま、おじゃまされます！』

累計1,300万DL超を誇る「コミックシーモア」の人気オリジナル作品をアニメ化。壁の穴で繋がる隣人との三角関係を描くラブコメとして、読売テレビと同枠放送！



©和戸村／シーモアコミックス・アニメ
『ただいま、おじゃまされます！』製作委員会

『女神「異世界転生何になりたいですか」俺「勇者の肋骨で」』

第8回ネット小説大賞を受賞した、「塩対応の女神様」と「トンデモ転生を繰り返す主人公」の異世界転生記をアニメ映像に加えてストップモーション、人形劇、実写など型破りな手法で映像化！



©安泰/宝島社/めがおれ製作委員会

『自動販売機に生まれ変わった俺は迷宮を彷徨う 3rd season』

転生したのは…「自販機」！？白い四角形の体に、機械音声のみ。アメリカ市場など海外でも特に注目されているシリーズ



©屋熊・KADOKAWA/
「自動販売機に生まれ変わった俺は迷宮を彷徨う3」
製作委員会

劇場版『**名探偵コナン ハイウェイの墮天使**』が累計114億円突破（5/11時点）の
 超大ヒット！！『**人はなぜラブレターを書くのか**』が初日3日間邦画実写映画第1位。
 夏には累計興収245億円のシリーズ最新作『**キングダム 魂の決戦**』
 冬には大人気アニメの劇場版『**薬屋のひとりごと**』など
 2026年は多彩なラインナップ！



©2026 青山剛昌／名探偵コナン製作委員会



© 2026映画「人はなぜラブレターを書くのか」製作委員会

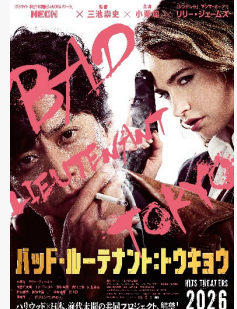
夏には前作が80億円を突破する特大メガヒットとなった『キングダム 魂の決戦』
 がいよいよ公開。9月にはシリーズ累計150万部を突破した東野圭吾の『白鳥とコウモリ』
 が公開。秋には米ハリウッドとの共同製作、三池崇史監督、小栗旬主演の
 『バッド・ルーテナント：トウキョウ』が日米で公開。



©原泰久/集英社
 ©2026映画「キングダム」製作委員会

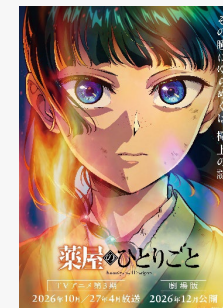


© 2026「白鳥とコウモリ」製作委員会



© 2026 BLT TOKYO LIMITED.
 All Rights Reserved

12月には超人気TVアニメシリーズの劇場版『薬屋のひとりごと』、世界的なヒット曲「上
 を向いて歩こう（SUKIYAKI）」の制作の裏に秘められた六八九トリオ（永六輔、中村八大、
 坂本九）の友情と葛藤を描く感動の大作映画、『SUKIYAKI 上を向いて歩こう』が公開。
 いずれも海外展開をにらんだ注目作です



©2026 劇場版「薬屋のひとりごと」製作委員会
 ©日向夏・イマジカインフォス



©「SUKIYAKI 上を向いて歩こう」製作委員会



●自社技術「AiDi」の「縦型動画切り出し」機能に海外から注目

- ・ 独自AI技術「AiDi」は、従来型の横型映像からAIが自動的にモバイル向けに「縦型」に最適化して配信する機能を持っています。

またAiDiはインターネット環境を必要とせず、PC1台で稼働し、生中継時の遅延はわずか0.5秒程度です

これらの機能は海外からも注目を集めていて、アメリカのNBCスポーツは2月の冬季国際大会で初採用し、プロバスケットボールのNBAの試合中継でも使用しました。

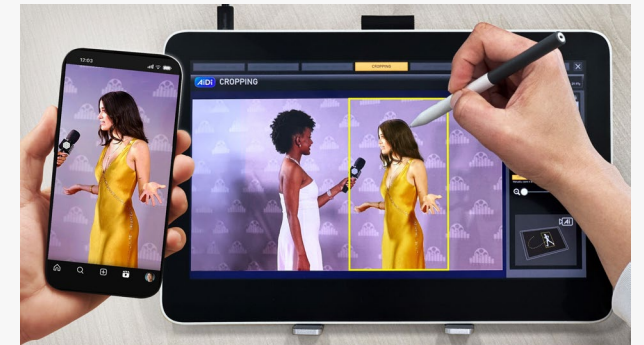
3月のWBC（ワールド・ベースボール・クラシック）の中継制作では、野手の守備位置の変化を追従・表示する演出に採用されています。

・ 米ラスベガスで開催された世界最大級の放送・映像技術見本市「NAB Show 2026」において、革新的で将来性のある製品に対して授与される「Product of the Year・ストリーミング部門」を受賞しました。

また、映像業界の専門メディアである『TV Tech』誌の選出による「Best of Show Award」も受賞し、主要アワードでのダブル受賞となりました



AiDiの「縦型動画切り出し」機能



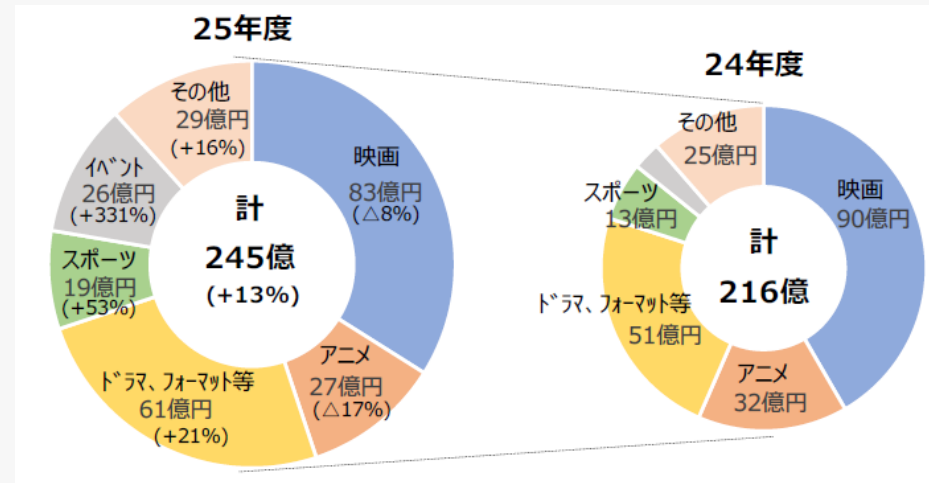
●GYOKURO STUDIO オランダTalpa社と新規大型フォーマットを開発中

- ・海外市場向けにバラエティ番組のフォーマット開発をしているGYOKURO STUDIOは、25年度に9本を開発しました。世界最大級コンテンツ見本市「MIPCOM」など様々な国際見本市を活用してセールスをおこなっています。
- ・3月に地上波で放送した「THE FLOOR」の購入を通じて、フォーマットを開発したオランダのエンタメグループ企業「Talpa」社との連携が深まり、新規フォーマットの共同開発に取り組んでいます。
- ・グローバルプラットフォームへのオリジナル企画提案も積極的におこなっています



3月に放送された「THE FLOOR」

●海外売上状況



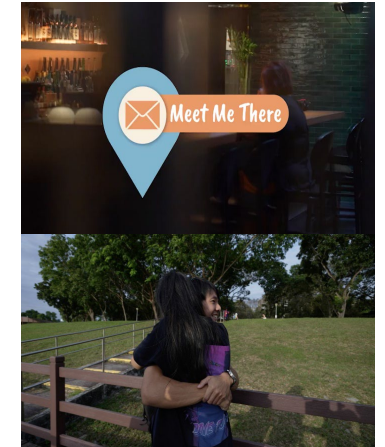
コンテンツグローバル展開

◆ドラマ『ぼくたち家』が海外のアワードで「最優秀賞」を受賞

昨年10月期放送の日曜ドラマ『ぼくたち家』が、BL・GL作品に特化した国際的なアワードである「Hub Awards 2025」で「最優秀社会的インパクト賞」を受賞しました。同性カップルの法的障壁や性差別といった社会課題を深く掘り下げた核心的なメッセージを打ち出した点が評価されました



『ぼくたち家』
受賞発表より



シンガポール版
『あの場所で待ってます』
番組映像より

◆バラエティフォーマット：『あの場所で待ってます』シンガポール版成立

夫婦や強い絆で結ばれた2人が記憶を頼りに思い出の地で再会を目指すハートフル密着ドキュメンタリー番組『あの場所で待ってます』のシンガポール版がMediacorp（メディアコープ）社によって制作され、2026年3月に放送されました。初の海外版の成立となります

◆ドラマリメイク：『Mother』のリメイク数がアジア作品でトップ！

イギリス調査会社K7が直近18か月のデータを集計したレポートによると、『Mother』のリメイクは新たに3件が成立し、アジア発の作品としてリメイク数トップの座を維持しています。その他のドラマを含むリメイク配給数においても日本テレビは世界の大手配給会社と肩を並べて第6位にランクイン、グローバル市場での存在感を高めています



『Mother』日本版＋各国版ポスター

「THE GAME CENTER FOOTBALL DREAM MATCH- IN SAITAMA STADIUM 2002-」



新規スポーツ事業！

サッカーの聖地・埼玉スタジアム2002で4月4日に開催された、BMSG・スターダスト・LDH・Lapone等のアーティスト選抜と本田圭佑率いる日本代表レジェンズによるサッカードリームマッチは、3万人超の観客を動員し、チケットは完売の大成功！



「D.U.N.K.」

日本最大のDANCE&VOCAL FES『D.U.N.K.』、第4弾開催！

2023年に事務所の垣根を超え「DANCE&VOCALの世界を作ろう」というスローガンで始動した「D.U.N.K.」

現在は日本最大のDANCE&VOCAL FESに成長し、2026年3月に開催された第4弾はKアリーナ3DAYSが完売！計6万人を動員



「株式会社Dリーグとの資本業務提携」

日本発のプロダンスリーグ「D.LEAGUE」を運営する株式会社Dリーグとの資本業務提携を締結！

D.LEAGUE

プロダンスリーグ「D.LEAGUE」を運営する株式会社Dリーグへの資本参画により、日本テレビは「DANCE」カルチャーに対してこれまで以上に積極的に参入していきます。

「D.U.N.K.」他で培ったノウハウと日本テレビのコンテンツ制作力・メディアパワーをD.LEAGUEと結合させ、ダンサーのタレント化、ストーリー性のある番組制作、ライブイベントの共同開催など、ダンスを基軸とした新たなエンターテインメントIP（知的財産）の価値最大化を目指します

■「D.LEAGUE」の概要

株式会社Dリーグが主催・運営するダンスのプロリーグ。

ダンサーが企業の所有するダンスチームとプロ契約を結ぶ新しいアートのスポーツで、FIDA JAPANが定めるルールに則り、8名でダンスパフォーマンスのSHOWを行います。



イベントビジネス ①

『ルーヴル美術館展 ルネサンス』

【東京】2026年9月9日(水)～12月13日(日)

国立新美術館 企画展示室1E (東京・六本木)

日本テレビとルーヴル美術館との長期パートナーシップに基づき開催される展覧会です。

本展はルーヴル美術館のコレクションから選び抜かれた50数点を通して、15世紀から16世紀にかけてヨーロッパ各地で隆盛を極めたルネサンス美術のいくつかの特徴を浮き彫りにします。注目は、初来日を果たすルネサンス期の最大の芸術家、レオナルド・ダ・ヴィンチの傑作の一つである《女性の肖像》、通称《美しきフェロニエール》です



丸美屋食品ミュージカル『アニー』

【東京】2026年4月25日(土)～5月11日(月) 新国立劇場 中劇場

【愛媛】2026年8月2日(日) 愛媛県県民文化会館 メインホール

【大阪】2026年8月6日(木)～8月11日(火・祝) 梅田芸術劇場 シアター・ドラマシティ

【仙台】2026年8月22日(土)～8月23日(日) 東京エレクトロンホール宮城

【名古屋】2026年8月28日(金)～8月30日(日) 愛知県芸術劇場 大ホール

1986年から日本テレビ主催による上演がスタートし、今年で41年目のブロードウェイの名作ミュージカル。4月25日には累計入場者数が200万人達成



イベントビジネス ②

『罊』

【東京】2026年6月6日(土)～26日(金) よみうり大手町ホール

【大分(中津)】6月28日(日) 中津文化会館 / 【福岡】6月29日(月) 福岡市民ホール / 【高松】7月1日(水) レクザムホール / 【徳島】7月2日(木) あわぎんホール / 【大阪】7月4日(土)5日(日) 森ノ宮ピロティホール / 【水戸】7月7日(火) 水戸芸術館ACM劇場 / 【新潟】7月9日(木) 新潟県民会館

2024年秋に「読売新聞創刊150周年記念舞台」として上演され、意表を突く結末、ミステリアスな演出が評判を呼び、完売御礼の大人気公演となった舞台の待望の再演です。『罊』はフランスの劇作家ロベール・トマが1960年に発表し、パリで初演されたサスペンス劇の傑作です。上川隆也が主演、深作健太が演出を担当する推理劇の決定版です



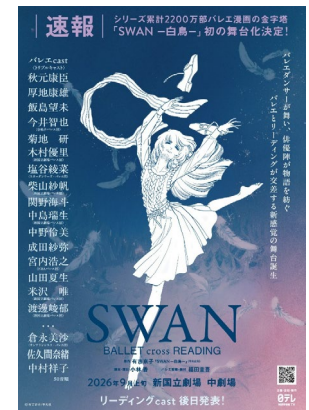
『SWAN - Ballet cross Reading -』

2026年9月上旬 / 新国立劇場 中劇場

バレエ漫画の金字塔「SWAN-白鳥-」の美しいバレエと心を震わす言葉を、バレエとリーディングが交差する斬新で新感覚の舞台として、ついに劇場に誕生します。

原作「SWAN-白鳥-」は、シリーズ累計発行部数2200万部の大ベストセラー。今年、連載開始50年を迎え、半世紀にわたり愛されつづける有吉京子によるバレエ漫画です。

「SWAN-白鳥-」の最大の魅力であるバレエシーンは日本最高峰の現役プリンシパルや国内外で活躍した錚々たるバレエダンサーが集い、上質な踊りで表現し、俳優がリーディングで舞台上を巡り物語を紡ぎます



Ad Reach MAX

地上波テレビCM枠を柔軟かつリアルタイムに取引できる「アドリーチマックスプラットフォーム」が展開するWebサービス「スグリー」において、TVerの広告の取り扱いを開始

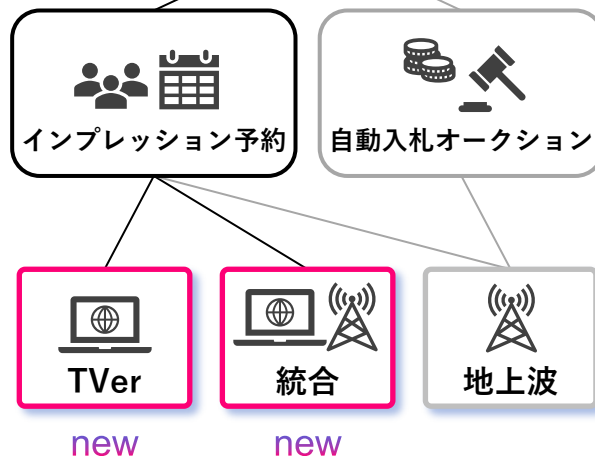
▶ スグリー とは

- 発注時に契約したインプレッション数を達成する運用型広告
- 自動入札オークションで放送当日のテレビCMも発注可能



TVer/統合が登場

▶ スグリー



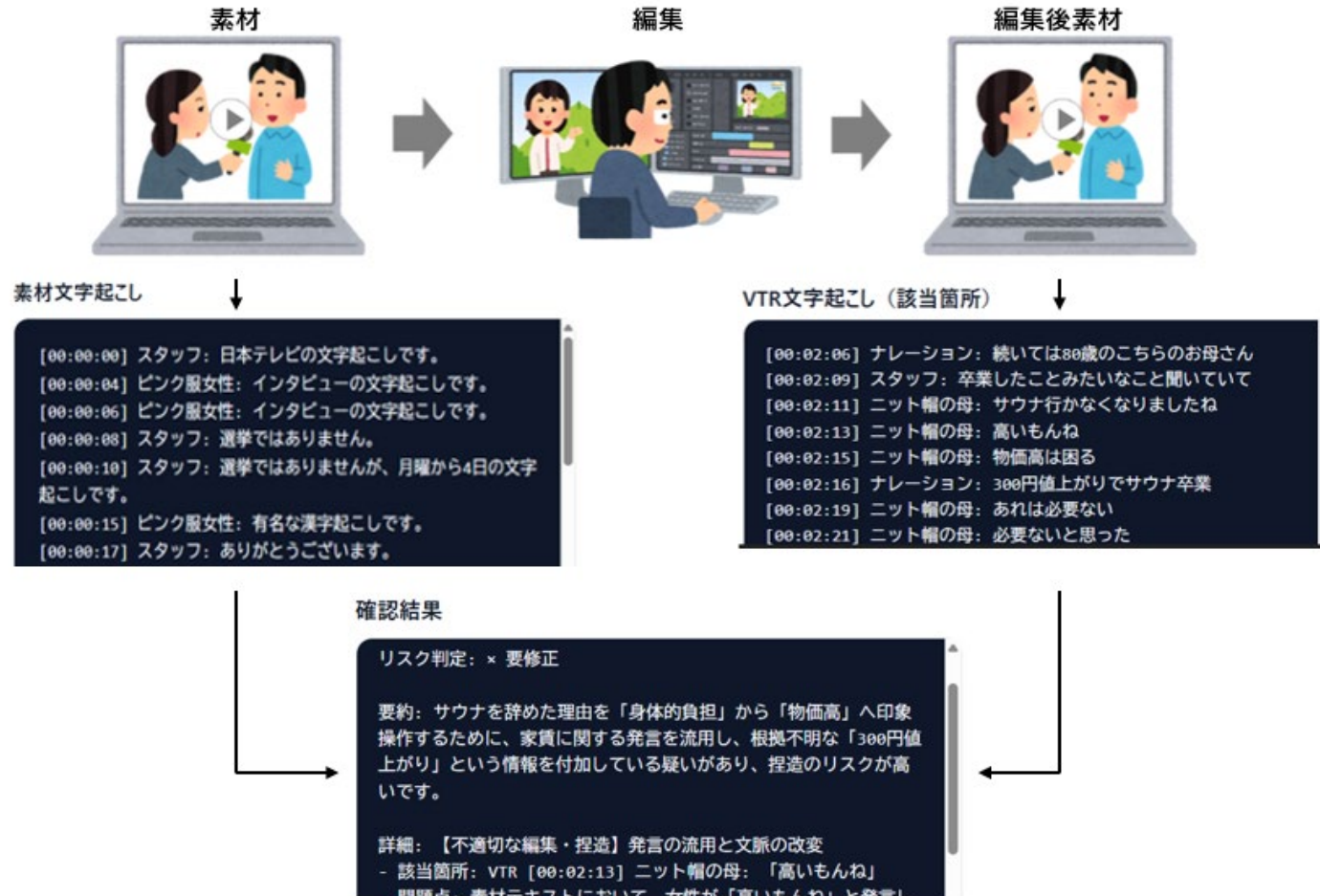
Point

- ✓ 2026年4月より、スグリーでTVer広告の取り扱いを開始
- ✓ 地上波とTVerをそれぞれまたは、まとめてオンラインで購入が可能に
- ✓ Total Video対応を加速し、テレビ・デジタルの統合運用とレポートニングを実現

VTRチェックAIの開発

「VチェックAI」とは

素材VTRと編集後VTRの文字起こしデータ（話者特定）を元に、AIが不適切な編集や発言等がないかをチェックします



株主還元・資本政策

業績予想

戦略的投資

決算概況

コンテンツ戦略・AI関連

編成戦略・デジタル・配信

補足資料

2025年度 視聴率

2025/3/31～2026/3/29

	個人視聴率	コア視聴率
全日 (6～24時)	 3.3	 2.2
プライム (19～23時)	 4.7	 3.6
ゴールデン (19～22時)	 5.1	 3.8
モーニング (7～10時)	 3.6	 2.5
プラチナ (23～25時)	 2.2	 1.6



1位



2位

「コア視聴率」について

購買意欲が旺盛な13歳から49歳までの男女を「コアターゲット」と呼び、「個人全体」だけでなく、この層の視聴率を重視しています。コア視聴率については14年連続で全日・プライム・ゴールデンでの三冠を獲得することができました。個人もコアも上げていき、2026年は個人視聴率での三冠も目指しています。

編成戦略のテーマ「誰かと見たい、が、一番見たい。」

生活者の皆様に「新しさ」「熱量」「親子・家族の時間」を届け、
人が集まるコンテンツを放送します。
コンテンツのファン、**日テレのファンが増えることを目指していきます。**

「一緒に、日テレ。」キャンペーン始動

1995年に話題となった「それって、日テレ。」キャンペーン。
テレビが中心だった時代…それから30年
この春、日テレは「誰かと一緒に見る」を重視したコンテンツを発信することを
伝えるキャッチコピー「**一緒に、日テレ。**」を打ち出します。
この言葉と共に、祝祭性コンテンツの豪華さをアピールしながら、新番組を魅力的に
パッケージ。日テレコンテンツ（個）のファンを、局全体のファン（面）へと繋げ、
「一緒に、見る。」共視聴、同時視聴というテレビの本質的価値も伝えていきます



2026年 新レギュラー番組

バラエティー・報道・ドラマ…各ジャンルでファンを増やしていきます。

金曜ミステリークラブ!!!

世界各国の摩訶不思議な出来事からクイズが出題され、実際の映像や再現ドラマを見ながら、ミステリーの真相を推理。全世代が楽しめる“新・考察バラエティー”

【放送日時】金曜19:00～19:56 【出演者】二宮和也、ノブ(千鳥) ほか



追跡取材 news LOG

ニュースは結論だけではなく、プロセスから見えてくる真相もある。取材の記録をたどることで真相に近づく、追跡ドキュメンタリー型ニュース番組

【放送日時】土曜22:00～22:54 【出演者】和久田麻由子、森圭介 ほか



4月期水曜ドラマ「月夜行路 一答えは名作の中に」

文学オタクのバーのママと家庭に居場所を無くした主婦が出会い、人生を取り戻す旅の中で事件に巻き込まれていく痛快文学ロードミステリー。TVerお気に入り登録者数が1位(*)を記録するなど好調！

10月期には「俺たちの箱根駅伝」(原作：池井戸潤)を連続ドラマ化

箱根駅伝を生中継し続けてきた日本テレビが総力を挙げて贈る、前人未到の映像プロジェクト

※4月27日現在、2026年4月クールのプライム帯ドラマの中で1位

誰かと見たくなる“祝祭性コンテンツ”を多数放送していきます！

ダブルインパクト2026 漫才&コント二刀流No.1決定戦

サンパチマイク1本で熱い掛け合いを畳みかける“漫才”と
独創的な世界観とキャラクター演技で構築する“コント”——
漫才とコントの二刀流日本一を決めるお笑い賞レース『ダブルインパクト』
昨年の第1回大会はニッポンの社長が2875組の中から勝ち抜き初代王者に。
今大会のコピーは「芸人、出し尽くせ。」 第2回王者は誰だ？



24時間テレビ49

去年は一般募金に加え、マラソン子ども支援募金、能登復興支援募金、パラスポーツ応援募金という3つの目的別募金をもうけ、19億円を超える寄付金をお預かりした『24時間テレビ』。
今年のテーマは「わたしの家族の話～あなたは誰を想う？～」
ひとりひとりの「わたし」が語る家族の物語を通して、
見えてくる今、そしてこれからの「社会のあり方や問題」を見つめていきます。
総合司会は内村光良・羽鳥慎一・水卜麻美



日本中が熱くなる『サッカーワールドカップ』を放送します！

FIFAワールドカップ2026

日本代表のグループステージ第2戦「日本×チュニジア」を含む、計15試合を放送！

6月から7月にかけて北中米3か国16都市で開催される「FIFAワールドカップ2026」を地上波生中継します。決勝トーナメント進出の鍵を握るグループステージ第2戦の対戦相手は北アフリカの強豪チュニジア。「史上最強」の呼び声高い森保ジャパンがどんな戦いを見せてくれるのか。

日本時間 6月21日(日)13時キックオフです！

また、5月31日(日)19時から、

ワールドカップ前の国内最終戦

「キリンチャレンジカップ2026 日本×アイスランド」

も放送！

試合後の壮行セレモニーまで生中継で日本全国にお届けします。

日本テレビのサッカー中継にご期待ください！



配信事業：HJホールディングス

(単位：百万円)	売上高	営業利益
2025年度	32,118	3,377

年度末に向け大型コンテンツを投下。
前年度の減損処理の影響で収支体質は大きく改善。

■1月期 日曜ドラマ「パンチドランク・ウーマン」 シーズン2を独占配信！

1月期の日曜ドラマ「パンチドランク・ウーマン」の最終回後にシーズン2のHulu独占配信を開始。シーズン1から連続して展開することで作品のファン層を着実に積み上げ、シーズン2配信開始から2週連続で週間視聴ランキングの1位を獲得



■Hulu「ミステリーシネマ」が始動！

1話完結の本格ミステリードラマ企画「ミステリーシネマ」が始動。第1弾として、有栖川有栖「スイス時計の謎」、法月綸太郎「リターン・ザ・ギフト」、麻耶雄嵩「メルカトル・ナイト」の3作品を実写映像化。満島真之介、柄本時生ら豪華キャストを迎え、原作のロジックを忠実に再現。4月17日（金）から毎週1作品ずつ3週にわたり独占配信



配信事業：TVer（AVOD）

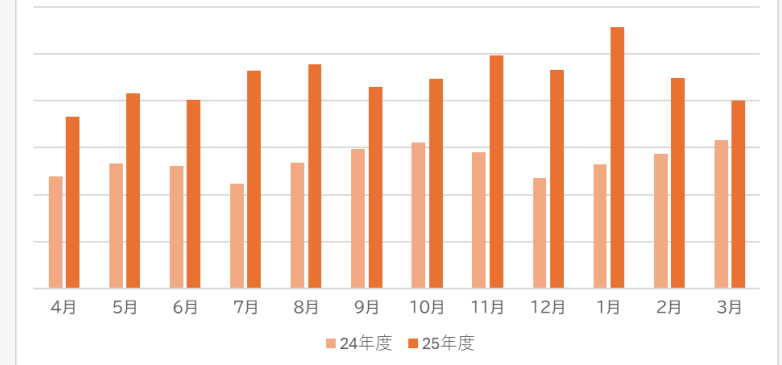
TVer 状況

※26年1月 TVer歴代最高のUB数

◆ UB数 : 1月 4,477万 2月 4,032万 3月 3,915万
再生数 : 1月 6.3億 2月 5.6億 3月 5.9億



日本テレビ バラエティー
再生数 月推移



日本テレビの取組

バラエティジャンル 累計1.5億再生突破！

「上田と女が吠える夜」「月曜から夜ふかし」「世界の果てまでイッテQ！」

「上田と女がDEEPに吠える夜」「しゃべくり007」等の人気バラエティが引き続き好調！

また、日本アカデミー賞では、放送の配信に加え、ウェルカムレセプション・レッドカーペットの模様もライブ配信

TVerアワード2025 受賞！

- ・ドラマ優秀賞「良いこと悪いこと」 ※日本テレビドラマ歴代最高の再生数
- ・アニメ優秀賞クールアニメ賞「薬屋のひとりごと」
- ・バラエティ優秀賞「上田と女が吠える夜」
- ・10周年記念優秀賞「月曜から夜ふかし」

ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック配信（冬季大会としてはTVer初）

開会式や競技など、日本テレビとして計8コンテンツをライブ配信。

TVer全体としても前北京大会（再生数2550万）を大きく上回る4,400万再生を突破

※TVer DATA MARKETINGにて算出

日テレNEWS NNN（ニュース配信）

【ニュース配信事業のさらなる強化】



日本テレビは、日本テレビ系NNN30社と共に、視聴者ユーザーの皆さまに**“未来のきっかけ”**を提供する為、**正確で速やかな報道の実施、良質なニュースコンテンツを提供**をしている他、プレミアムニュースコンテンツの広告セールス強化を行っています

▶ New！ 日テレNEWS NNNアプリのリリース

日本テレビ系NNN30社（Nippon News Network）による統合ニュースサイト「日テレNEWSNNN」は4月6日にアプリをリリース、各報道番組と連携し、ユーザー参加型のコンテンツも用意しました



▶ New！ TVer 「日テレNEWS NNN」コンテンツ配信強化

日テレNEWS NNNでは、24時間ニュースチャンネル「N24」の常時ストリーミング配信だけでなく、全国各地の天気予報や、最新のフラッシュニュース、政治・経済・国際・スポーツ各ジャンルの最新情報、事象を深掘する解説コンテンツや全国の地域ニュース提供を本格展開します。（2026年5月中旬）



株主還元・資本政策

業績予想

戦略的投資

決算概況

コンテンツ戦略・AI関連

編成戦略・デジタル・配信

補足資料

日本テレビ放送網スポットセールス出稿業種別比較

スポットセールス出稿業種別比較

	2024年度	シェア	増減率
1	サービス	16.8%	9.1%
2	化粧品・トイレタリー	10.5%	13.2%
3	通信・ゲーム	8.8%	△ 10.6%
4	金融・保険業	6.3%	5.7%
5	住宅・建材	5.6%	7.2%
6	電気機器	5.2%	35.3%
7	輸送機器	4.5%	19.9%
8	薬品	4.5%	7.6%
9	アルコール飲料	4.5%	5.0%
10	映画・演劇興行	4.4%	△ 8.2%

	2025年度	シェア	増減率
1	サービス	17.8 %	15.7%
2	化粧品・トイレタリー	10.2%	6.5%
3	通信・ゲーム	9.8%	22.1%
4	金融・保険業	7.3%	26.7%
5	住宅・建材	5.2%	2.0%
6	輸送機器	4.6%	11.0%
7	流通・小売業	4.5%	38.3%
8	薬品	4.2%	2.3%
9	電気機器	4.0%	△ 15.2%
10	アルコール飲料	4.0%	△ 2.1%

セグメント別実績

(単位：百万円)

	売上			営業利益		
	2024年度	2025年度	増減	2024年度	2025年度	増減
コンテンツ・メディア事業	431,120	452,888	21,768	52,190	67,114	14,924
ウェルネス事業	26,755	27,665	910	187	△72	△259
不動産関連事業	11,530	11,554	24	4,445	4,136	△309

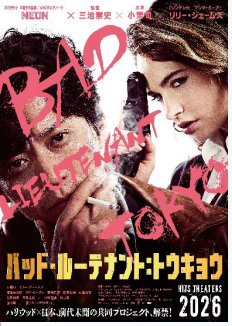
2026年 映画事業の主なラインナップ ①

★ = 日テレ幹事作品
● = 共同幹事作品
■ = 出資作品

公開	作品名	配給	備考	
6/26 (金)	■それいけ！アンパンマン パンタンと約束の星	東京 テアトル	日本中に「愛と勇気」を届けてきたみんなのヒーロー、アンパンマン。 遠い昔に、ある冒険家と交わした大切な約束を守るため、旅をしていたレッサーパンダのパンタン。虹の星がもう一度輝いた時、約束の場所で見たものは…。 原作：やなせたかし（フレーベル館刊） 監督：矢野博之 脚本：米村正二 声の出演：アンパンマン／戸田恵子 ばいきんまん／中尾隆聖 他 声のゲスト声優：土屋太鳳 EXIT（りんたろー。 兼近大樹） ©やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV ©やなせたかし／アンパンマン製作委員会2026	
7/17 (金)	●キングダム 魂の決戦	東宝	シリーズ累計興収245億円突破！超人気シリーズ映画の第五弾！ 天下の大將軍を目指す青年と中華統一を志す大王が繰り広げる壮大なアクションエンターテインメント！大將軍の意思を引き継いだ者たちが再び立ち上がる――新章開幕！ 原作：原泰久「キングダム」（集英社「週刊ヤングジャンプ」連載） 監督：佐藤信介 脚本：黒岩勉 原泰久 出演：山崎賢人 吉沢亮 橋本環奈 山田裕貴 豊川悦司 小栗旬ほか ©原泰久/集英社 ©2026映画「キングダム」製作委員会	
9/4 (金)	●白鳥とコウモリ	松竹	シリーズ累計発行150万部突破。ミステリー界の巨匠・東野圭吾が「今後の目標は、この作品を超えることです」と認めた新たな最高傑作が実写映画化。 原作：東野圭吾「白鳥とコウモリ」（幻冬舎） 監督：岸善幸 脚本：向井康介 出演：松村北斗 今田美桜 ほか © 2026「白鳥とコウモリ」製作委員会	

2026年 映画事業の主なラインナップ ②

★ = 日テレ幹事作品
● = 共同幹事作品
■ = 出資作品

公開	作品名	配給	備考	
秋	●バッド・ルーテナント：トウキョウ	日本配給：SONY 北米配給：NEON	カンヌ国際映画祭パルムドール＆米アカデミー賞最優秀作品賞のW受賞『パラサイト 半地下の住人』『ANORA』の北米映画会社NEONが配給するハリウッドとの共同製作映画企画。型破りの刑事と秘密を抱えるFBI捜査官が猟奇殺人事件に挑むスリラーサスペンス 監督：三池崇史 脚本：天願大介 主演：小栗旬 出演：リリー・ジェームズ（『シンデレラ』等）、間宮祥太朗、リヴ・モーガン（WWE女子世界王座）、野村周平、西野七瀬、向里祐香、岩田剛典 渡邊圭祐、中野英雄、村上純、國村隼、舘ひろし 他 © 2026 BLT TOKYO LIMITED. All Rights Reserved.	
12月	■薬屋のひとりごと	東宝	大人気TVアニメシリーズの劇場版。原作・日向夏先生の書き下ろし原案プロットを元にしたオリジナルストーリー。 原作：日向夏（ヒーロー文庫／イマジカインフォス刊） キャラクター原案：しのとうこ 監督：長沼範裕 アニメーション制作：TOHO animation ©2026 劇場版「薬屋のひとりごと」製作委員会 ©日向夏・イマジカインフォス	
12/25 (金)	★SUKIYAKI 上を向いて歩こう	東宝	世界的大ヒット曲「上を向いて歩こう（SUKIYAKI）」の制作の裏に秘められた六八九トリオ（作曲・中村八大、作詞・永六輔、歌手・坂本九）の友情と葛藤を描く感動の音楽映画。 監督：瀬々敬久 脚本：港岳彦 音楽監督／音楽：岩崎太整 音楽：林正樹 出演：岡田准一 松坂桃李 仲野太賀 清野菜名 上白石萌音／仲里依紗／土屋太鳳 ほか ©「SUKIYAKI 上を向いて歩こう」製作委員会	